

令和4年度（令和3年度事業）

美深町まち・ひと・しごと創生総合戦略  
評 価 報 告 書

令和4年度まち・ひと・しごと創生総合戦略評価（令和3年度事業）について、次のとおり報告する。

令和4年8月31日

美深町まち・ひと・しごと創生推進会議 会長 齊 藤 宏 行

## 1 評価の対象

まち・ひと・しごと創生総合戦略に搭載された具体的な施策のうち41の主な事業について評価した。

## 2 評価の方法

まち・ひと・しごと創生総合戦略における基本目標1～4に分類される41の主な事務事業について、評価調書及び補足説明によって、3部会において担当する施策を4段階で評価した。

美深町まち・ひと・しごと創生推進会議 会長 齊藤 宏行、副会長 佐竹 仁 (◎は部会長 ○は副部会長)							
福祉教育部会	◎佐竹 仁	○花井あゆみ	森元 康好	細川 智義	工藤 裕美	池本 光弘	
	大堀 裕康	中江 勝規	田澤 満				
産業経済部会	◎中西 忠幸	○齊藤 雄太	菅野 勝義	向井 朋博	山下 朋子		
	杉本 力	山崎 義典	後藤 裕幸				
環境行財政部会	◎佐藤 智三	○関下 英明	齊藤 宏行	清水 節子	市名 弘子		
	望月 清貴	桜木 健一	川端 秀司	吉田 直茂			

3部会の評価施策数			
福祉教育部会	12事務事業(第3・4章)		
産業経済部会	18事務事業(第2章)		
環境行財政部会	11事務事業(第1・5章)		
四段階評価			
A評価	期待どおりの成果が得られた	B評価	一応の成果が見られた
C評価	あまり効果が見られない	D評価	全く成果が見られない

## 3 評価の経過

次のとおり会議・部会を開催した。

- ・ 8月18日 第1回まち・ひと・しごと創生推進会議
- ・ 8月18日 第1回各部会開催
- ・ 8月26日 第2回福祉教育部会
- ・ 8月31日 第2回まち・ひと・しごと創生推進会議・各部会開催

## 4 評価の結果

41事業のうち、A評価が26事業[63.4%]、B評価が14事業[34.2%]、C評価が1事業[2.4%]となっており、全体の97.6%がA・B評価であり、各事業は順調に実施されていると評価している。しかし、事業効果が現れるまでには一定程度の期間が必要であり、目標達成に向けて今後も継続した取組を進めていかなければならない。事務事業ごとの評価結果は次項のとおり。

令和3年度まち・ひと・しごと創生総合戦略事業評価一覧

第 1 章		推進会議 評価	担当 グループ	担当による事業の検証					事業 評価	今後の 方向性
事業No.	事務・事業名			進捗 状況	指標達成 状況	費用対 効果	実施 方法	次年度 課題		
1-2-1	113	A	生活環境	A	B	C	A	B	A	現状維持
1-3-2	121	B	水道住宅	B	B	B	B	B	B	現状維持
第 2 章		まちひとしごと 創生推進会議	担当 グループ	事業の検証					事業 評価	今後の 方向性
事業No.	事務・事業名			進捗 状況	指標達成 状況	費用対 効果	実施 方法	次年度 課題		
2-1-1	201	A	農業	A	B	A	A	B	A	現状維持
2-1-1	203	A	農業	A	B	A	A	B	A	現状維持
2-1-1	205	B	農委	B	B	B	B	B	B	現状維持
2-1-3	211	A	農業	A	B	A	A	B	A	現状維持
2-1-4	220	A	農業	A	A	A	A	B	A	現状維持
2-1-4	221	B	農業	B	A	B	A	B	B	現状維持
2-2-1	225	A	建設林務	A	A	B	B	B	A	現状維持
2-2-1	226	A	建設林務	A	A	A	B	B	A	現状維持
2-2-2	229	A	建設林務	A	A	A	A	B	A	現状維持
2-2-2	230	A	建設林務	A	A	A	A	B	A	現状維持
2-3-1	232	A	企画	B	A	A	A	B	A	現状維持
2-3-2	235	A	企画	A	A	A	A	B	A	現状維持
2-3-3	237	A	企画	A	A	A	A	B	A	現状維持
2-4-1	238	A	企画	A	A	A	A	B	A	現状維持
2-4-2	239	A	企画	A	A	A	A	B	A	現状維持
2-4-2	240	A	企画	A	A	A	A	B	A	現状維持
2-5-1	242	B	企画	B	C	B	B	C	B	規模拡大
2-6-1	243	B	企画	B	C	B	A	B	B	現状維持
第 3 章		まちひとしごと 創生推進会議	担当 グループ	事業の検証					事業 評価	今後の 方向性
事業No.	事務・事業名			進捗 状況	指標達成 状況	費用対 効果	実施 方法	次年度 課題		
3-2-1	303	A	教育	B	B	B	B	B	B	現状維持
3-2-1	304	B	教育	C	C	B	B	B	B	現状維持
3-2-6	314	A	教育	A	B	B	A	B	A	現状維持
3-3-4	319	A	教育	B	B	B	B	B	B	現状維持
3-5-1	322	A	教育	C	C	B	C	C	C	見直し
3-5-1	323	B	教育	B	B	A	A	B	B	現状維持
3-5-1	325	A	教育	B	B	A	A	B	A	現状維持
第 4 章		まちひとしごと 創生推進会議	担当 グループ	事業の検証					事業 評価	今後の 方向性
事業No.	事務・事業名			進捗 状況	指標達成 状況	費用対 効果	実施 方法	次年度 課題		
4-1-2	402	B	保健福祉	B	B	A	B	B	B	現状維持
4-1-3	403	B	保健福祉	A	A	B	A	B	A	規模拡大
4-2-1	405	A	保健福祉	A	A	A	A	B	A	規模拡大
4-2-2	406	A	保健福祉	A	A	A	A	B	A	見直し
4-3-2	416	A	保健福祉	A	A	B	A	B	B	現状維持
第 5 章		まちひとしごと 創生推進会議	担当 グループ	事業の検証					事業 評価	今後の 方向性
事業No.	事務・事業名			進捗 状況	指標達成 状況	費用対 効果	実施 方法	次年度 課題		
5-1-1	501	B	企画	C	C	B	B	B	B	現状維持
5-1-1	502	A	企画	A	A	A	A	A	A	現状維持
5-1-2	503	B	企画	A	B	A	A	B	B	現状維持
5-1-2	504	A	企画	A	A	A	A	A	A	現状維持
5-2-1	506	B	企画	A	B	B	B	B	B	現状維持
5-2-1	507	A	企画	A	A	A	B	B	A	現状維持
5-2-2	508	C	企画	C	C	B	B	B	C	現状維持
5-2-4	510	B	企画	C	C	B	B	B	B	現状維持
5-2-5	511	B	企画	B	B	A	A	B	B	現状維持

基本目標ごとに区分した評価結果の概要については、次のとおり。

基本目標 1	国の基本目標① 稼ぐ地域をつくるとともに、安心して働けるようにする まちの特性をいかした産業を振興し、働く場をつくる
<p>(1) 農業の振興</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 担い手の育成確保 担い手対策は、最も重要な課題であり、新規就農者や後継者の育成と経営安定化を目指して事業を継続しなければならない。新規就農者受入組織の体制は整っており、就農希望者が安心して就農できるよう支援を検継続する必要がある。</li><li>● 農地の維持と経営基盤の安定強化 持続ある美深農業の実現のため、『がんばる美深農業！』支援事業での農業者ニーズに即した各種支援や農畜産物販路拡大PR事業による販路販売や地産地消の推進など、積極的に取り組んでいると評価する。</li></ul> <p>(2) 林業の振興</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 森林の保全と経営基盤の安定強化 森林が持つ多面的機能を発揮するためには、造林・保育、主伐のサイクルは必要不可欠である。持続可能な森林経営を目指していくため、継続して計画的な施業を実施する必要がある。 施設・機械等の更新による生産性の向上と収益の増大を図るとともに、「北海道立北の森づくり専門学院」による担い手の育成など、林業経営を強化するための事業に取り組んでいる。各種事業の支援を引き続き行う必要がある。</li></ul> <p>(3) 商工業の振興</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 経営基盤の安定強化 商工会が実施している各種事業は、商工業の振興に大きく寄与している。また、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて消費が落ち込んだ業種への支援も行われており、評価する。</li><li>● 企業誘致・創業支援の推進 企業誘致については簡単に進むものではないが、アイデアや工夫により事業が進展するよう取り組んで欲しい。 担い手の確保は商工業の持続には重要な課題であり、商工業担い手支援事業による新規開業や人材育成への支援など、高く評価できる。</li></ul> <p>(4) 新たな産業の振興</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● チョウザメ産業の確立 北海道大学や水産試験場などとも連携し、チョウザメ飼育技術は向上しているが、採算面では厳しい状況であり、更なる経費節減と技術の向上が求められる。美深産キャビアが市場で認知されるよう、PR活動や加工研究、人材育成を進められたい。</li></ul>	

(5) 就労対策・勤労者福祉の充実

●雇用の安定と確保

就業訓練支援によるスキルアップや高校生への就職説明会の実施は、地元企業の担い手を育成・確保する上で重要な就業対策であり、継続して取り組む必要がある。

数値目標	基準値	目標値
町内企業就労者数の維持	1, 584人 【平成28年業種別従業者数】	1, 584人 (現状維持)

基本目標 2	国の基本目標② 地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる <b>美しい自然と豊かな地域資源をいかし、新しい人の流れをつくる</b>	
<p>(1) 関係人口の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 移住定住の促進           <p>コロナ禍により、移住体験の受け入れは中止せざるを得ない状況であったが、可能な範囲でPR活動は実施できている。利用希望者もいることから、アフターコロナを見据えて事業を継続されたい。</p> <p>地域おこし協力隊は、地域の活力維持と地域の魅力の再発見につながるとともに、定住対策としての取り組みとして、有効であると評価する。今後も募集内容や方法など検討しながら積極的に人材を誘致されたい。</p> </li> <li>● 山村留学の推進           <p>少人数の特性を生かした教育が展開されるとともに、地域の活性化が図られている。また、山村留学の受入れ体制も整っていることから高く評価する。</p> </li> <li>● 地域間交流・ふるさと会活動の推進           <p>コロナ禍において交流活動を展開することは難しかったものと理解する。事業自体は有効なものであり、これまで築いてきた繋がりを維持して、引き続き交流活動を進められたい。</p> </li> </ul> <p>(2) 観光の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 魅力ある観光の推進           <p>コロナ禍による影響を大きく受け、規模が制限された中で、可能な範囲内での事業の実施に取り組んだことは評価できる。アフターコロナを見据えて、観光入込客の回復を目指した事業を実施されたい。</p> </li> </ul>		
数値目標	基準値	目標値
観光客年間入込数の増加	43.7万人 【2020年度】	45.0万人 (3%増加)

基本目標 3	国の基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる 結婚・出産・子育ての希望をかなえる	
<p>(1) 住宅の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 良好な住環境の整備推進           <p>快適な住まいづくりと商工業振興事業は、住環境や商工業の環境が整備されるとともに、建設業の振興・雇用の安定化など、地域経済の活性化が図られており、高く評価できる。</p> </li> <li>● 公営住宅等の適切な維持・管理の推進           <p>公営住宅は、長寿命化計画に基づいて、計画的に建替えや改修が行われ、適正な管理戸数の維持が進められている。住環境を整備するとともに、入居率の向上を図るなど適正な維持管理に努められたい。</p> </li> </ul> <p>(2) 学校教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 高等学校教育の充実           <p>美深高等学校教育振興協議会による各種事業は、美深高校の生徒を確保するとともに、人材育成に大きく寄与している事業と評価できる。美深高等養護学校協力は、学校の教育活動に協力するとともに生徒の社会自立にも寄与した活動を行っており、引き続き支援していく必要がある。</p> </li> </ul> <p>(3) 社会教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 青少年健全育成           <p>コロナ禍で制限される中で「NPOびふかスポーツクラブ」と連携して事業を実施できており、子どもたちの育成に寄与していると評価できる。</p> </li> </ul> <p>(4) 子育て環境の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 子育て環境の整備           <p>母子保健事業、育児サークルともに実施できており、安心して子育てできる環境づくりに寄与していると高く評価する。</p> </li> <li>● 子どもを産み育てるための経済的支援           <p>不妊治療費助成については、利用実績もあり、事業の効果もあることから高く評価する。精神的にも経済的にも大変な負担が伴う治療であることから、安心して治療が受けられるように支援を継続していく必要がある。</p> </li> </ul>		
数値目標	基準値	目標値
合計特殊出生率の向上	1. 25人 【2020年度】	1. 66人 (人口ビジョン目標値)

**基本目標 4**

国の基本目標④ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる  
**安心して暮らせる魅力的な地域をつくる**

**(1) 道路・交通網等の整備****●公共交通の確保**

フレンドバスや仁宇布線デマンドバスなど、暮らしに必要な住民の足として定着してきている。住民にとって必要な公共交通を確保するため、多様なニーズを把握しながら事業を継続する必要がある。

**(2) 健康づくり・医療の充実****●病気の予防と早期発見の推進**

各種健診・検診は高い受診率となっており、町民の健康の保持増進に寄与できていると評価する。ただし、歯科検診については、住民に広くPRするなど、受診率の向上に向けた取り組みが必要である。

**●地域医療の確保**

保健師、看護師、准看護師の人材確保は緊急的課題であり、地元医療機関等への雇用確保に結びつけるための事業が必要である。継続して取り組まなければならない。

**(3) 高齢者支援の充実****●地域包括ケアシステムの充実**

高齢者の在宅生活を維持する上で、外出支援や除雪サービスは重要なサービスであり高く評価する。除雪作業員の確保が課題であるため、人材確保に向けた取組を進める必要がある。

**(4) スポーツ活動の推進****●スポーツによるまちづくりの推進**

コロナ禍により各種イベントの縮小・中止が余儀なくされたが、できる範囲内で取り組んでいる。今後のイベント開催の在り方などについて、協議を進める必要がある。また、エアリアル競技においても、コロナ禍で制限される中で、オリンピック合宿受入れができなかったのは残念であるが、誘致活動や受入れ体制は整っており、大会が実施できた点は高く評価する。

こどもスポーツ未来基金事業については、コロナ禍により基金の利用件数は減少したものの、事業については、子どもの育成に大きく寄与していると高く評価する。

**(5) 住民参画のまちづくりの推進****●住民参画の促進**

コロナ禍により人材育成研修支援事業の活用はなかったが、まちづくりを進めるためには、人材の育成は大変重要な事業であり今後も継続していく必要がある。

買い物の支援対策は、商工・福祉・自治会・行政など、多様な組織が参画して実施できており、登録者や利用者も増えていることから高齢者の生活に必要なサービスとして定着してきていると評価できる。引き続き、協議会で課題等を整理しながら、事業推進を図りたい。

●コミュニティ活動の推進

自治会活動は、安全で住みよい地域をつくるためには重要な活動であり、集会施設の整備や交付金や地域担当員の活用などにより支援されていることは評価できる、高齢化や人口減少により会員や役員の担い手が減少している自治会もあることから、引き続き必要な支援を進められたい。

美深町活性化促進事業は、住民の自主的な活動を促進し、まちの活性化に繋がっていると評価する。今後も、住民の積極的な活動を支援し、地域の活性化・特産品開発・新たなイベントの創出などが行われるよう事業を推進されたい。

数値目標	基準値	目標値
地域計画策定自治会数	14自治会 【2020年度】	17自治会 (全自治会)